

■ボラパックⅡ事前ガイダンス（パワーポイント）

事前ガイダンスは、パワーポイントを使用したオリエンテーションを中心に進めています。

平成23年度は安全衛生、平成24年度は被災された方々との接し方に重点をおいた内容となりました。また、団体・個人、便ごとに内容を更新しながら行っています。



みえ発！ボラパック

- 「みえ発！ボラパック」とは、
 - 「みえ」から被災地を支援するために「発」する
 - 「ボランティア」のための工夫が詰まった
 - 「パッケージ」企画
 - …の事です。
- 単に交通手段を提供するだけでなく、
 - 事前のガイダンス
 - 参加者のコーディネート
 - 現地での円滑な活動を支える後方支援センターなど様々な形でボランティア活動を支援しています。

岩手県山田町の概要と被害状況

- 被災前の山田町の状況
- 被害状況と復旧状況
 - 資料(山田町ってどんなところ)を参照

破壊された堤防

発災直後とその後の山田町

現在の山田町 (平成24年11月)

発災直後の山田町 (平成23年4月初旬)

みえ発！ボラパック(前年度)

- 運営支援ボランティア
- がれき撤去
- 保育園の補助
- 絵本の読み聞かせ
- 避難所の清掃
- 避難所の仮設風呂清掃
- 物資の仕分け・搬入
- 仮設住宅へのポストイングなど

みえ発！ボラパックⅡ(今年度)

これまでのノウハウを活かしつつ…

- 個人ボランティア派遣
 - ・現地のニーズで活動
 - ・事前に研修(ハンドマッサージ等)を受けて活動
 - ・同乗する団体・グループの活動補助
- 団体ボランティア派遣
 - ・文化や運動、教養を通じて被災地の復興に息長く寄り添う

活動内容 (例:個人)

- ◆現地で被災者のニーズに応じた活動
- 写真洗浄
 - 写真のデジタル化
- 引越しの手伝い
- ポストイング
- 側溝の掃除
- 畑の再建

※活動内容は現地の状況によって変わることもあります

活動内容 (例:個人)

- ◆事前に研修を受けての活動
- ハンドマッサージ
- アルバムカフェ
- 新聞コサージュ作り
- お正月飾り作り

活動内容 (例:団体)

- ・編み物教室
- ・連鶴教室
- ・ゆるキャラ交流
- ・手芸教室
- ・笑いヨガ
- ・音楽(合唱)交流

※その他、「将棋教室」「スポーツ少年団同士の交流試合」など、スクールのテーマをバラエティーに富んだものすることで、幅広い対象者に向けての支援とする

活動場所(例)

仮設団地 談話室

公共施設(仮のどきょうろ)

- 広さ一間5.19帖
- 座席定約20枚
- 机テーブル(足付)
- トイレ・洗面あり
- 湯いれ・ガス・水道使用可
- 広さ一間5.4m×奥行4.5m
- 12脚ハイバック椅子
- 丸テーブル2台・角テーブル1台
- トイレ・簡便換気扇・使用可
- お茶・コーヒー・お菓子持ち込み可

ボランティアセンターとは

- ・市町村の社会福祉協議会、ボランティア団体などが地域の諸団体と協力して設置
- ・ボランティアセンター(VC)の役割
 - ・ボランティアの受入れ
 - ・地域のボランティアニーズの収集
 - ・ボランティアの行き先、活動内容の調整
 - ・その他、安全衛生管理・作業用具の貸出しなど
- ・運営方法・ルールは地域性(設置の経緯・活動内容)などにより異なる…**違いがあって当たり前**

山田町社協復興支援愛センター

- 平成23年12月「山田町災害ボランティアセンター」より名称変更
- 山田町社会福祉協議会が運営し、東日本大震災で被災した町民へ様々な支援を行っている

現地で取り組む活動

みえ発！ボラパックⅡの参加者は現地で

「チーム(みえボラ)」

として、リーダー・サブリーダーを中心に活動します。

※みえ災害ボランティア支援センターのスタッフが現地をサポートさせていただきます

チームの役割

- ・リーダー・サブリーダー
 - ①総括(チーム作り、ミーティングの進行、みえスタッフ・現地ボラセンとの連絡など)
 - ②報告(活動報告書の作成など)
 - ③安全衛生管理(チームの安全衛生の啓発(声かけ)ケガや病気の発生時の報告書作成など)

※参加者の中から、事務局のほうでリーダー・サブリーダーを決めさせていただきます。該当者には事務局より出発日前日までにお知らせします

チームの役割

記録係(カメラ係)

チームの活動記録として、写真を撮影する

※被災された方々に対し最大限の配慮が必要

※記録写真はみえポータルで管理し、必要な方にデータをお渡しします

活動リーダー

現場活動の際のリーダー(活動のとりまとめ、安全管理)

役割のある方だけに頼らず、チーム内で助け合い

<15>

活動準備 ～被災地に行く前に～

(1) 日程 ○月 ×日(金)～ △日(月)

(2) 集合場所・時間 (※時間厳守)

ホテルグリーンパーク津 16:30 集合

(3) 集合場所までの交通手段

駐車場トラブルに関する責任は負いかねます。

公共交通機関または送迎にてお越しください <16>

活動準備 ～被災地に行く前に～

(4) 参加(交通)費用 (バス乗車時にお支払いいただきます)
往復15,000円(片道のみ利用者は7,500円)

(5) その他費用

- ・往復や滞在中の食事代
- ・宿泊代
- ・帰路の入浴(500円)・食事代

(6) ボランティア保険

- ・天災型に必ず加入してください

(7) 被災地でのボランティア活動に参加するには周囲の理解も大切です。 <17>

活動準備 ～被災地に行く前に～

(8) 携行品 → しおり参照

・荷物は1度に持って歩ける量に

(荷物で人の手を煩わせないの自己完結の形)

・現地の状況を想定した準備を

(気温、緊急時の避難に備える、
宿泊場所の設備を把握する)

・滞在中、現金をはじめ貴重品類は各自で管理をお願いします <18>

宿泊場所 ※民宿・無料宿泊所選択可



嶋田鉱泉 ニュー嶋田荘

(住所) 岩手県下閉伊郡山田町金町4-72-1

◆宿泊費(1泊2食付) ー 約36,000円

※宿泊人数によっては別の民宿になる場合があります



かわいキャンプ

(住所) 岩手県宮古市川井1-60-3

◆宿泊費 ー 無料

◆交通費 ー 約1,500円

◆食事 ー 各自準備

◆着 泊 ー 寝袋等を各自準備 <19>

注意事項

(1) 被災地の写真撮影は禁止です。

(2) 被災地での活動期間中、お酒は禁止です。

(3) 煙草は活動中は吸わないでください。

休憩中に指定場所で吸うようお願いいたします。 <20>

体調管理をしっかりと

(1) 自分の体調を見極めましょう。睡眠時間や食欲、持病や血圧にも留意し、不調がなと思った時点で活動をやめる勇気を持ちましょう。

(2) 飲み物も十分に用意し、こまめにとります。
きちんとトイレに行くのも大切です。

(3) 食中毒にならないよう、お弁当類は時間をおかず
に食べきりましょう。 <21>

体調管理をしっかりと

(4) 小さなケガでも場合によっては**破傷風感染の危険**
があるので、必ずリーダーに報告しましょう。

(5) 夜はしっかり寝て、明日も元気に起きましょう。

(6) 被災地における不安や後傷などは、ミーティングで仲間と共有しましょう。
※帰ってきてからもモヤモヤが続くようなら専門家も活用しましょう。 <22>

非常時に備える

滞在中、大きな余震や津波が来る可能性が全くない
とは言いきれません。

(1) 現地での避難場所・避難経路は常に確認し
ましょう。

(2) 被災地における緊急連絡先、連絡網を事前
確認しておきましょう。

(3) 懐中電灯や救急セット、保存の利く非常食を
持参しましょう。 <23>

被災地でのボランティアの大原則

(1) 復旧や復興の主役は被災された方です。ボラン
ティアはそれをサポートする存在であるということ
を忘れないように心がけましょう。

(2) ボランティアは自己責任・自己完結が原則です。
被災された方・被災地に負担をかけないように
しましょう。

(3) 単独での行動は避けるようにしましょう。 <24>

被災された方と接するうえで 気を付けていただきたいこと

- ◆ 話を横取りしない
- ◆ 相手の話に反論、批判、否定しない
- ◆ 安易な慰め(元気づけ)はしない
- ◆ 先入観を持たない
- ◆ 相手の話を自己流に解釈しない

被災された方の立場をできるだけ理解し、
判断を押しつけるようなことは避けましょう <25>

山田町・まなびの時間

「山田町・まなびの時間」とは？

現地の方をガイドに迎え、山田町を案内いただきながら、
山田町のこと、震災時の体験などのお話を学びます。



- ◆ 各便でお迎えするガイドさんにより、内容・コース等は異なります。
- ◆ 被災体験のあるガイドさん・バス運転手さんにも、十分な配慮を待ちましょう。
- ◆ 観光ではありません！ <26>

現地スタッフ紹介

山田町出身のみえ災害ボランティア支援センターの現地スタッフです。

現地で皆さまの活動のサポートをさせていただきます。



佐藤 辰也さん



外館(とくべ) こずえさん <27>

情報発信

ホームページ(<http://mvsc.jp/>)以外にも

○ニューズメール

○Twitter

(みえ事務局Twitter) @mvsc_jimukyoku

(山田町現地Twitter) @mvsc_yamada

○Facebook

による情報発信をしています。 <28>

みえ災害ボランティア支援センター

- ・みえ災害ボランティア支援センターとは、
- ・以下団体が幹事団体となり、三重県内外での災害発生時に災害ボランティア活動を支援する活動を行う、官民協働で運営される組織です。
- ・特定非営利活動法人みえ防災市民会議
- ・特定非営利活動法人みえの心ネットワークセンター
- ・三重県ボランティア連絡協議会
- ・社会福祉法人三重県社会福祉協議会
- ・日本赤十字社三重県支部
- ・三重県(山田町・地味町・津町・津原町・津原町・津原町・津原町)
- ・東日本大震災発生を機に、2011年3月14日に設置
支援活動を開始しました。 <29>

※このパワーポイントは一例です。内容は便ごとに変わります。